

## 開かれた学校づくりをめざして

### I 研究の内容

#### 1 研究の方法

##### (1) 研究の柱

- ・学校と地域・保護者との関わり方・連携の方策について
- ・学校・子どもたちが地域の人々や保護者とのつながりを生み出す実践
- ・研究の成果の共有（情報の発信も視野に入れながら）

(2) 各部員が、各校の実践（子どもたちの変容の様子、問題点、悩み等）を報告し、それについて情報交換・協議し、研究を深める。夏季学習会では講師を招き理論研究を行う。常任講師の先生方に、常時ご助言・ご指導をいただく。

(3) 保護者・地域との連携について授業実践を通して研究を深める。

#### 2 実践発表と授業研究

(1) 加納岩小「保護者・地域住民を巻きこんでの取り組み」の実践発表

- ・有価物回収，花作り，地域のお年寄りとの交流の発表

(2) 東雲小「保護者・地域住民と提携した取り組み」の実践発表

- ・寺子屋の実践，道徳の実践発表

(3) 勝沼小「保護者・地域と提携した取り組み」の実践発表

- ・学習支援ボランティア，保育園との連携，地域の施設を利用した取り組み等の発表

(4) 山梨小「保護者・地域住民と提携した取り組み」の実践発表

- ・親子活動，地域の高齢者との連携，保育園との連携，聾学校との交流の発表

(5) 井尻小「保護者・地域との連携を学校教育に活かすために」の実践発表

- ・金環日食の観察会，林間学校の指導，ふれあいまつりの取り組みの発表

(6) 牧一小「保護者・地域住民と提携した取り組み」の実践発表

- ・PTA 活動，朗読ボランティアの取り組みの発表

(7) 夏季学習会…授業案検討・臨地研修

- ・臨地研修…「根津記念館」視察

(8) 授業研究 第5・6学年 総合的な学習の時間「地域の伝統文化に親しもう」

竹川 きよみ先生（岩手小学校）

ねらい……○ゲストティーチャーの話を聞いたり，太鼓の演奏の仕方を教えてもらったりすることを通して，「岩手太鼓」や，伝統を守ってきた地域の方の思いや願いについて理解する。

授業の流れ…岩手太鼓を伝承してきたゲストティーチャーから，歴史や練習・演奏の様子等について話を聞いたり，質問したりする。岩手太鼓の叩き方を教わり，感想を発表し合う。

児童の様子…児童はゲストティーチャーの話をしっかり聞いたり，メモをしたりしながら意欲的に取り組んでいた。太鼓の演奏を教わる場面でも，伝統に対する児童の熱意や誇りが伝わってきた。

- (9) 神金小「保護者・地域と連携した取り組み」の実践発表
  - ・学校林自然学習会，神金フェスタ，福祉施設訪問の取り組みの発表
- (10) 全国教研還流報告 清水 千春 教頭先生（井尻小学校）
  - ・各県の実践報告，田富中「弁当の日」の取り組みの発表
- (11) 目下部小 「保護者・地域と連携した取り組み」の実践発表
  - ・お年寄りとの交流，親子活動の取り組み等の発表
- (12) 玉宮小 第1学年生活科「くさきも わたしも ころもがえ」の実践発表
  - ・地域素材・地域人材を活用した授業実践の発表
- (13) 授業研究 第1学年 道徳「はたらくってかっこいい」

小川 洋子 先生 （勝沼小学校）

ねらい………○働くことのよさを感じて，みんなのために働こうとする気持ちを持たせる。

授業の流れ…保護者5人をゲストティーチャーに招き，仕事をしていて，うれしいこと，良かったこと，大変なことなどの話を聞く。それぞれの児童あてに家の人を書いてくれた手紙を読み，仕事の大変さを知る。

児童の様子…5名のゲストティーチャーから話される内容をしっかりと聞いていた。話の内容への関心が高く，つぶやきが多くあった。両親からの手紙を読み，日常，自分たちのために，あるいはみんなのために仕事をしている姿を考えることができ，また，家族から愛されている自分の存在にも気づくことができ感謝の手紙を書くことができた。

## II 成果と課題

### 1 成果として

- 各校での保護者・地域との連携について協議を行う中で，様々な連携の在り方について学べただけでなく，その中で出された成果，課題について理解を深めることができた。
- 保護者・地域人材・地域教材を効果的に活用した授業研究をすることができた。授業案検討，当日の研究授業と，参加者全員による共同研究として取り組むことができ，とても意義のある授業研究となった。
- 2本の研究授業を通して，保護者や地域住民との連携によって，授業内容の深まりや，子どもたちの興味・関心が強まることが感じられた。そのためには，日々の実践の中で，保護者や地域住民とのつながりを強くしておくことが重要であることがわかった。

### 2 課題として

- 研究授業を2本しっかり行えたことの意義は大きい。学べたことを整理し，自校の実践に少しでもいかせるようにしたい。
- 学校と地域とのつながりは，それぞれの学校によって異なっている。自分の学校について振り返り，連携のあり方を考えていくことが求められている。
- 事例集の作成など，研究内容が他の部会の人にもいかしてもらえるような方法についても考えていきたい。

## III 成果物

- 学習指導案2本・学習ワークシート ○各校の実践レポート ○理論研究資料  
(部長 飯室 美華)